

12月 冬のあったか縁日報告号

まちづくり通信

こころんネットニュースレター 合同号



発行 飛騨高山まちづくり本舗
住所 〒506-0845
高山市上二之町 44-4
電話&FAX 0577-33-5282
homp@takayamashishouren.net

YY 掲示板 ネット討論など ドリーミンオフィシャルサイト ★<http://www.takayamashishouren.net/d/>



12月9日、10日の「冬のあったか縁日」
いつの日か あの日がきっかけだったね という時が来るでしょう
あの2日間は、市庁舎まるごと『こどもの城』になりました

庁舎のガラス前でストリートダンスを楽しむ高校生。屋内の熱気が外にまであふれているのが感動でした。

このまちの若者、こどもたちの未来が象徴されているような冬晴れの日でした。



↑しゃべり場風“こどもの本音”

ゲームや携帯が主流の現代社会にあって、おしゃべりを楽しみながらお互いの気持ちを知り合う企画は、コーディネーターの川島さんの雰囲気づくりもマッチして秀逸な90分となりました。

30を超える子育てを応援する市民団体と厚生労働省、こども未来財団、児童健全育成団、高山市が協働して2日間にわたって30を超えるプログラムが展開されました。市庁舎の三角屋根の下は「高山があったかいこころのまちになったらいいね」と、熱気ムンムン。

来場者は、初日(半日)633人、2日目(一日)754人の合計1,387人みんな楽しみ方も、感じ方も、表現の仕方もさまざまな縁日を満喫していました。

とりわけ、今年は演出にスタッフにと高校生をはじめとする若者が会場を盛り上げてくれました。これからはますます楽しい縁日となりました。

進行役は
高山西高校の
岩畑さん →
←市長さんも
開会で子育て
支援を約束



ワークライフバランス

パネルディスカッションには、企業人だけではなく、地元高校生もパネラーとして登場 ↓



オープニングは 舟山太鼓童組 ↑

縁日には、こども未来財団の佐藤さん、10年間高山のまちづくりを応援していただいた延藤さんや三矢さん、全国つどいの広場協議会代表の奥山さんに加え、県の少子化担当の古川さんにもかけつけていただきました。



今回のテーマ、それは

～ やりたいことひとつ増やそう 大切なことみんなで伝えよう ～

参加者は、それぞれにその思いを実感されたことでしょう



がむしゃらあおむし&おはなしネット
ことだま&飛騨高山高校の共演
ブラックシアター、パネルシアター、
絵本の読み聞かせ等と、盛りだくさんの1日でした。



劇団くるりんぱ
「かんぺちゃん がっこうへいく」
結成10年を迎えるくるりんぱ。
今回は食育をテーマにした劇を披露してくれました。



公立保育園保育士による
「あそびのひろば」

牛乳パックを使っての手づくりおもちゃなど手軽でお得で驚きっぱいのひろばに、こどもたちはおおはしゃぎ



「手づくり絵本展」 &
「子どもまちづくりコンクール作品展」

手づくり絵本50冊と、ちょうど10年を迎えた子どもまちづくりコンクールの過去の入賞作品が、記念として再び展示されました。こどもたちのまちづくりの芽は高山にとって貴重な宝ものです。



社会福祉協議会による
「移動児童センター」

飛騨高山高校のお姉ちゃん、お兄ちゃんもスタッフとして大勢参加してくれました。

大きな会議室がダンボール迷路で埋め尽くされました。作戦会議をする子どもたち。ハードルさながらに乗り越える幼児。ようやくゴールにたどり着いた赤ちゃんと、表情もいろいろ笑い声と泣き声が途切れることがありませんでした。



高山の市民参加のまちづくりは、今年で10年を迎えました。

この縁日は、10年の振り返り、そして、明日への希望……

「いま、わたしたちにできること……こどもたちのために」

演奏付き紙芝居「葉っぱのフレディ」

高山で生まれたオリジナルな紙芝居。
新家さんの作品は、平川さんらのフルートやエレクトーンの音色とともに命の大切を教えて語りかけます。



市民ロビーの装飾オブジェも、子どもたちにかかれば、楽しいおにごっこや、かくれんぼの大道具に大変身!!



ラストを飾った子育て賛歌
「さいばいず」によるライブ



縁日 エンディングセレモニー 伝えたいメッセージ

みんなで口ずんだエンディングセレモニー。ラストの曲に込められたメッセージを、今一度、思い起こしてみましよう……

クリキンディの歌には、辻信一さん監修の「ハチドリの一としずく～今、私にできること」という本のお話があります。

南アメリカの先住民に伝わる古いお話です。

「ハチドリの一としずく ～いま、私にできること」

監修 辻 信一

森が燃えていました。

森の生き物たちは
われ先にと逃げていきました。



でも、クリキンディという名のハチドリだけは、いったりきたりくちばしで水のしずくを一滴ずつ運んで炎の上に落としていきます。

動物たちが、それを見て
「そんなことをして、いったい何になるんだ」と言って笑います。

クリキンディはこう答えました。
「私は、私にできることをしているだけ」

とべ、クリキンディ

～ハチドリ之歌 作詞・作曲アンニャ・ライト
(日本語詞 辻 信一)

とべ とべ クリキンディ
とべ とべ クリキンディ
とべ とべ クリキンディ
とべ とべ

わたしは わたしに できること
あなたも あなたに できること
火をけすための ひとしずく
いのちのための ひとしずく

とべ とべ クリキンディ
とべ とべ クリキンディ
とべ とべ クリキンディ
とべとべ……



このお話の続きは、私たちが作り伝えていくのだそうです。地球と人とが、共に生きてゆくために、今できることを、ひとりひとりが考え、やっていたら幸せなあったかい心が見つかるのではないのでしょうか。



保健センターにて同時開催の「いいお産の日」は、お産や妊婦さんの衣食住についての盛りだくさんのワークショップ。かかわったお母さんスタッフやこどもたちも、縁日のエンディングを楽しく共有しました。



高山をこよなく愛する「大道芸人桜子」

若者パフォーマーの一輪車乗りを、ちびっこたちは夢中になって見入っていました。演技終了後にかけて寄るこどもたち。



親子体験レポート

★「冬のあったか縁日」託児室から★



子育て・親子のふれあいをテーマに繰り広げられた「冬のあったか縁日」。楽しいイベントや講演など盛りだくさんの会場の舞台裏、市役所の最上階に設けられた託児室での、「ぼく」たちと託児ボランティア団体「きんたろうの会」のひとたちとのあったかい2日間の様子をご紹介します。

会場で活動していた縁日スタッフの中には、私と同じ様に幼児を持つ母親もいました。そんな母と子のため、またプログラム中の各種講演会などに参加したい方々のために、縁日には「託児」があったのですが、私自身、今回の立場からの関わりは、同じ年代の親子が楽しんでいるかたわらで、我が子と離れて仕事として参加するという事にやりがいを感じながらも少し辛い心境もありました。私も一般の参加者なら、あちこちの整理券を手にして、「ぼく」とゆっくりその席について楽しみ、純粋に「縁日」というイベントを満喫していただろう・・・と思うと、そう出来なかった事が何となく「ぼく」に申し訳ないという気持ちでした。ところが、そんな私の思いをよそに、「ぼく」の方はというと、託児室が楽しくて嬉しくて大喜びでした。1日目に満足した「ぼく」は、2日目も朝一番から託児室へ行くのだと大張り切り！！（一緒だったお友達のT君も大満足で、2日目も飛び入りしていたそうです）

託児室に来ていた子どもたちの中でも、少し大きい幼児のお友達は、スタッフのお兄さんと一緒に会場へ行き、ダンボール迷路や紙芝居なども楽しんだとか。でも、「ぼく」の心に残ったのは、たくさんの催しがあった大きな縁日会場よりも、小さな和室の中での時間でした。



ちょっと不思議？？と思いましたが、それは、暖かい心遣いと手厚い対応のたまもの。そこが、「ころんネット」や「あったか縁日」の原点である、あったかころの居場所だったのです。母親が仕事なのだとな納得して預けられた「ぼく」たちにとって、庁舎6階に設けられた託児室は、選ばれし者だけが集える「天空の城」だったのかも知れません。そんな「ぼく」の姿から、子どもの成長を感じ、親子のきずなを再確認しました。

（レポーター：縁日会場でてんてこ舞いの母H&託児室を満喫した「ぼく」Sとお友達T君）

0577-33-5055

かんかこかん
いんふぉめーしょん

こどもひろば・情報ひろば・まちづくりひろば
まちひとぶら座かんかこかん
開館時間 10時～5時

忍者ッ子、ただいま参上!!

障がいのある方たちが地域で喜びをもって暮らせるよう支援をしていこうという NPO 法人「ウエルコミュニティ飛騨」から生まれた忍者ぼぼ。子ども忍者のまち探険でなじみのある忍者キャラクターは、人気のマスコットになりそう。



こどもひろば

- ・利用者さんがお友だちを誘って、0～2才児の親子が増えています。
- ・ツイズ Day を、定期的に開催中！双子ちゃん、三つ子ちゃんファミリー同士の交流とネットワークの場に。
- ・ボランティアさんに教えてもらった折り紙の重ね箱が好評で、かんかこのお母さんたちの間でブームになっています。本では味わえない生のあそびの伝承の場にもなっています。

クラフト工房

◆トートバック、エプロン、木工クラフト、ガラスアート、ビーズ編みストラップ、クラフト色々好評販売中!



※新入園、入学グッズも入荷予定です。

ミニギャラリー1月

「消しゴム版画の猪」
版画：松見ひろ子さん

日本画

(亥の年シリーズ)
山口栄一郎さん